原 稿 作 成 の 手 引 き

1. 各原稿には編集用に所定の「原稿送り状」を付け、必要事項をすべて記入の上、提出する。
2. 原稿は、Wordのdocないしdocxフォーマットファイルとして作成し、媒体(USB, CDRなど)と本論文とそのコピー3部を付けて投稿する。

原稿投稿先：〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1 産業医科大学雑誌編集室
 内線：2633 tel & fax: 093-691-7291(直通) E-mail: j-uohc@mbox.med.uohc-u.ac.jp

3. A4(縦置き)用紙を使用する。英文の場合1行80字程度(半角, 12ポイント)×20行, 和文の場合40字程度(全角, 12ポイント)×20行で印字する。英文・和文ともA4用紙2.5枚程度が印刷約1頁となる。

投稿論文の記入順序

4. <原稿の第1頁目>
 - 1) ランニングタイトル(英文の場合60字以内, 和文の場合30字以内)を記入する。
 - 2) 雑誌の偶数頁の上部に記載する著者名(和文の場合共著者は、(コンマ)で区切り2名までは全員記載(英文の場合&で区切る), 3名以上は筆頭者, 他)を記入する。

(例) 英文の場合	和文の場合
(1) T SANGYOU & H SANGYOU	(1) 産 業 太 郎, 産 業 花 子
(2) T SANGYOU <i>et al</i>	(2) 産 業 太 郎, 他
 - 3) 対応著者を記入する。

主論文の内容が英文の場合

(例) *Corresponding Author: Tarou SANGYOU, Department of ……., School of Medicine, University of Occupational and Environmental Health, Japan. Yahatanishi-ku, Kitakyushu 807-8555, Japan, Tel: +81-93-691-7291, Fax: +81-93-691-7291, E-mail: j-uohc@mbox.med.uohc-u.ac.jp

主論文の内容が和文の場合

(例) *対応著者：産 業 太 郎, 産 業 医 科 大 学 医 学 部 ○○学教室, 〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1, Tel: 093-691-7291, Fax: 093-691-7291, E-mail: j-uohc@mbox.med.uohc-u.ac.jp
5. <原稿の第2頁目>
 - 1) 1行目右肩

英文の場合(Original, Review, Case Report, Research Note, Report)

和文の場合(原著, 総説, 症例報告, 短報, 報告)などを記入する。
 - 2) 1行空白
 - 3) 表題—太文字記入する。(…の研究, などの形式を避ける。)

英文の場合—単語が, 名詞, 代名詞, 形容詞, 副詞, 動詞である場合には, それぞれ最初の文字を大文字とし, 前置詞, 冠詞, 接続詞などは, 小文字とする。
 - 4) 2行空白
 - 5) ①著者名を記入する。共著者名は, (コンマ)を用いて同じ行に続けて書く。
 - ②所属の異なる共著者の場合は, 著者名の終わりに^{1,2,3,...}の符号を上付け記入する。
 - ③英文の場合—共著者名はフルネームとし, 名は小文字, 姓は大文字とし, (コンマ)とand(最終著者の前)で区切る。

(例) 和文の場合	①産 業 太 郎, 産 業 花, 産 業 花 子
	②産 業 太 郎 ¹ , 産 業 花 ² , 産 業 花 子 ³
英文の場合	③Tarou SANGYOU, Hana SANGYOU and Hanako SANGYOU
 - 6) 1行空白

- 7) 所属(産業医科大学 学部名 講座名など)を記入する。共著者の所属が異なる場合は、^{1,2,3,...}の符号を所属の最初に上付けにて記入し、所属ごとに改行して列挙する。

英語の場合－イタリック体とする。

(例)(1)和文の場合

産業医科大学 医学部 ○○学教室

¹産業医科大学 産業保健学部 ○○講座

²産業医科大学 産業生態科学研究所 ○○学教室

(2)英文の場合

Department of ……., School of Medicine, University of Occupational and Environmental Health, Japan. Yahatanishi-ku, Kitakyushu 807-8555, Japan

¹*Department of ……., School of Health Sciences, University of Occupational and Environmental Health, Japan. Yahatanishi-ku, Kitakyushu 807-8555, Japan*

²*Department of ……., Institute of Industrial Ecological Sciences, University of Occupational and Environmental Health, Japan. Yahatanishi-ku, Kitakyushu 807-8555, Japan*

- 8) 2行空白

- 9) 要 旨：の活字のみ太文字記入する。

要旨の内容は、和文の場合600字以内、英文の場合250語以内。1文字空白後、普通字で改行せずに続けて記入。

(例)和文の場合

要 旨：○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○.

英文の場合

Abstract:○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○.

- 10) 1行空白

- 11) キーワード：(和文の場合), **Key words:** (英文の場合) この文字のみ太文字で記入し、英文の場合のみイタリック体で記入する。

その内容については普通字(英文の場合小文字)を用い、一句ごとに、コンマで区切って5個以内で記入し、最後に.(ピリオド)を付ける。

(例)キーワード：○○○○, ○○○○, ○○○○○, ○○○○○○○, ○○○○.

Key words : ○○○○, ○○○○, ○○○○○, ○○○○○○○, ○○○○.

- 12) 2行空白

- 13) 所属変更に伴う現住所、および論文対応著者の連絡先などを掲載する場合は脚注(Foot note)として、記入する。(印刷時は第1頁の脚注となる。)

- 14) 2行空白

- 15) はじめに、材料および方法、結果、考察、謝辞(科学研究費助成金などの出所)、引用文献、表・図の説明などの順に記入する。

各見出しは太文字記入とし、それぞれ3行分を割り当て、行の中央におく。

- 16) 最終頁

英文の場合は、和文表題、著者名、所属、要 旨：、キーワード：を書く。

和文の場合は、英文表題、著者名、所属、**Abstract**：、**Key words**：を書く。

その形式は上記本文記入形式に従う。

6. 注意事項

- 論文の表現は冗長にならぬように心掛ける。
- 度量衡は原則として、国際単位系(SI)を用いる。
- 句読点は、(コンマ)および。(ピリオド)を用いる。
- 行頭に□□□□、拗音、促音など下付きの文字が来ないように、文章、語句を注意して書く。
- 成語(一般、同一、数百名など)を除き、数字は、アラビア数字を用いる。

- 6) 原稿(図や表の場合も含む)には、一連番号を記入する。
- 7) 本文中に図や表を指すときは和文であっても、図1や表1とせず、Fig. 1. および Table 1. のように書く。
- 8) 図や表の表題および説明は原則として、英文記入とし、一葉に1つずつ印刷。 Fig. No. や Table No. ならびに各表題は太文字で記入する。
- 9) Fig. の場合、説明はまとめて別の紙に記入する。表題の終わりにはピリオドをつける。
(例) Fig. 1. ○○○○○○. (2半角文字分空け、説明文は普通文字にて記入。)
- 10) 図の縦軸、横軸の目盛は原則として軸の内側に付ける。
- 11) 写真や図の拡大率、縮小率は、×2000のような表現をなるべく避け、図の中に10 μm など印刷時の縮小率に左右されない縮尺バーで示すことが望ましい。また、写真などは、印刷の都合上、仕上り横幅 7.8 cm(半ページ)または 16.6 cm 以内(1ページ)になるので、原図はなるべくその大きさに描くことが望ましい。
- 12) 表の場合、表題の終わりにはピリオドを付けない。横線のみを用い、原則として縦線や斜線は用いない。表の説明は、まとめて別の紙に記入する。
(例) Table 1. ○○○○○○ (表題は2半角文字分空け、太文字にて記入)
- 13) 文献は本文中において引用の順にカッコ[]内に番号で記入する。
(例) : [7], [11, 12]あるいは[11-13, 17]
- 14) 著者は営利的あるいは類似した関係を有する企業、団体がある場合には、その内容を開示すること。著者は本文中の引用文献の前に置いた利益相反の項で利益相反の内容について記載する。利益相反がない場合は「なし」と記載する。
- 15) (1) 引用文献リストは和文、英文原稿ともに、すべて1行通しで印刷される。
(2) リストは引用順に記載する。
(3) 記載の順序－引用番号。著者名(西暦年号)：表題。雑誌名 巻(各号の始頁が1頁からの場合のみ(号)を記入する。)：始頁－終頁とする。
(4) 単行本から引用する場合－引用番号。著者名(西暦年号)：論文表題。書名。巻数。版数。(編者名)。発行所、発行地 pp 引用始頁－終頁の順に書く。
(5) 和文の場合共著者は、(コンマ) 英文の場合共著者は、(コンマ) と & (最終著者の前) で区切り、10名までは全員併記。11名以上は3名まで併記し、それ以上は、他または *et al* と略す。
(6) 文献が複数行にまたがる場合は、1行目と2行目以降の文字の頭を揃えて記入する。
(例)
1. Tajiri M & Yoshino F (1988): A false……. J UOEH 10: 301-315
 2. Ahrendt M, Hammerschmidt SI, Pabst O, Pabst R & Bode U (2008): Stromal cells……. J Immunol 181: 1898-1907
 3. Yamada T, Nakamura J, Suzuki S *et al* (1988): Work place……. J Environ Med 12: 1037-1042
 4. 山田太郎, 中村次郎, 鈴木三郎, 他(1988): 産業医学領域における…の特徴. 産業医学研究 12: 103-114
 5. Yamada T, Nakamura J & Suzuki S (1988): Degradation of……. *In*: Environmental Contamination and Pollution. (Nakamura R & Katoh G, *ed*). ○○ Univ Press, London pp 35-38
 6. 江口五郎(1988): 動物の社会構造. 産業化社会環境下の生物. 改訂版(杉山六郎, 他, 編). 巻数. ○○出版, 東京 pp 156-183
 7. 1頁のみ引用の場合 (例) p 215 と記入.
 8. 単行本1冊すべてを引用する場合 (例) 362 pp と記入.
- 16) 印刷技術上や全体の統一をはかるために、編集委員会の責任において多少の字句の変更を加えることもある(印刷形式については、本誌の最新号を参照のこと)。

*その他、不明、疑問の点がある場合には清書前に、編集担当者(嵐谷 りな)までご連絡下さい。